

- 滋賀県・大津市に関するご質問、ご意見をお寄せください!
- 活動や報告についてのご意見、ご感想をお待ちしております。
- 成田セイリュウ後援会に入会いただくと、定期的に県議会活動レポートを送付いたします。ぜひともご参加ください。
- ボランティアスタッフを募集しております。



PROFILE

唐崎中、膳所高、龍谷大学法学部政治学科 卒業
同志社大学大学院総合政策科学研究科 修了
民主党滋賀県総支部連合会 青年局長
滋賀県議会議員(大津市選挙区)1期

大津市消防団唐崎分団団員
唐崎学区体育振興会 常任理事
唐崎学区スポーツ少年団 事務局
大津子ども環境探偵団エコーダー 幹事

社団法人大津青年会議所 事務局長
滋賀県トランポリン協会 会長
スペシャルオリンピックス日本
滋賀設立準備委員会 事務局

2010年度予算を審議した2月定例会が終了しました。
滋賀県では「県民の生命と暮らしを守る」ため、施策の重点化を図り、施策を展開しております。一方では、経済不況により、法人二税が当初の見込みを約117億下回り、減収補てん債の発行を行い、結果、県債残高は1兆円を突破することとなりました。

選択と集中の下、県民の安全・安心を図っていかねばなりません。今回は、将来への滋賀に向けた重要課題である環境問題に対して、一般質問をいたしました。今後とも、県民に分かりやすい、活発な滋賀県議会になるように、頑張ります!!



二月定例会

マザーレイク21計画について

マザーレイク21計画が県民に与えてきた影響

成 田 / マザーレイク21計画は基本理念として「琵琶湖と人との共生(琵琶湖を健全な姿で次世代に継承します。)」とし、基本方針に「共感(人々と地域との幅広い共感)」「共存(保全と活力ある暮らしの共存)」「共有(後代の人々との琵琶湖の共有)」を掲げ、**全県をあげた協働の取り組みが求められ、琵琶湖保全の規範の下、10年がたったが、マザーレイク21計画がこれまでに県民に与えてきた影響はどのようなものがあるか?**

知 事 / マザーレイク21計画を推進していくための駆動力としては、行政が進める取り組みと県民の皆さんの主体的な環境保全の取り組み、これを車の両輪に据えている。そして双方が協働的に、お互いを高めあう形で前向きに進めるよう、それ無くして前進は無いものと考えている。流域ごとの合意形成や情報交換などを進めるための流域協議会の設立を呼びかけるなど支援をし、県民総ぐるみで琵琶湖の総合的な保全に取り組んでいただいた。

マザーレイク21計画第2期以降の進行管理

成 田 / マザーレイク21計画の第二期以降の進行管理にあたっては、多くの人の参画により、一人ひとりに琵琶湖に対する意識をさらに高めてもらうことが必要であると考えるが、**県民がどのような形でこの計画にかかわっていくのか?**

知 事 / 計画段階から市民・住民の皆さんの意見を反映していく必要があると考えており、学術委員会と並行した形で、様々な分野の市民の参画のもと、「市民ワークショップ」等を開催し、琵琶湖の将来像やそれに向けた市民・住民の主体的な関わり方について検討する。また情報共有や意志決定への専門家、県民の参加のプロセスのひとつとして、仮称「マザーレイク21フォーラム」の設置が提案されており、「(仮称)学術フォーラム」と「(仮称)県民フォーラム」を設け、県民フォーラムで出された市民・住民目線の意見や新たな提案を、さらに学術フォーラムで検討し、行政施策や事業の改善につなげていく。

マザーレイク21計画の改定にむけて

成 田 / **未来の孫子にどのような琵琶湖を残したいのかも含めて、マザーレイク21計画の改訂にむけた意気込みは?**

知 事 / 第2期計画の策定に向け、学術委員会では「琵琶湖流域生態系の保全・再生」と「暮らしと湖の関わり再生」を位置づけ、琵琶湖の総合保全を進めていくことが重要であるとされている。次の世代が、私たち自身が小さい子ども時代に楽しんだような水辺での遊び、或いは憩い、そしてそれを大人たちが見守るという姿、そしてこれは四季折々の湖の生き物に対応しながらの楽しみが展開するということを期待したい。
行政的取り組みとしては、環境、農政、土木各部署が横断的に、上下流、県内の河川だけではなく京都・大阪まで含めて、さらには市民、企業と行政が協働しあって取り組めるような、より実効性のある計画を策定し、琵琶湖の総合保全政策に全力で取り組んでまいります。

インターン生レポート「滋賀県議会を傍聴して…」



県議会を傍聴するのは、初めてのことで、知らないことが多く、様々な発見がありました。例えば、質問が様々であることや、県の抱える多くの問題や県の政策について、これからの滋賀県がどのように変わっていくかなどです。県の問題や政策については、今まで自ら調べることはありませんでした。知らないことが多く、議会の内容が理解しにくいこともありました。そのため県のことをより詳しく知るためには、自分で行動する必要があると感じました。また、議会では、予め質問や答弁が通告に従い、準備をされていて、それゆえ儀式的な側面が強く、傍聴側にとっては少し、聞きづらい節もあったように思います。
議員さんの質問や普段の様子、私たちに接してくださる態度からは、県政、県民に対する熱い思いや人柄の素晴らしさ、信念が感じられました。議会の傍聴を通して、県政について以前より関心が持てました。

※NPO法人ドットジェイピーより、4名の学生が、議員インターンシップとして、社会経験をしました。

地球温暖化対策について

(仮称)滋賀県地球温暖化対策推進条例について

成 田 / **(仮称)滋賀県地球温暖化対策推進条例の策定に向けて、どのような内容を考えているか?**

知 事 / 滋賀県環境審議会温暖化対策部会小委員会報告では、長期の目標を達成するためには制度的な枠組みとしての新たな条例が必要であること、また、「環境保全と経済発展の両立」などを基本的な考え方とし、「考えられる制度案」として、
1.大規模工場等の立地に当たっての公共交通機関利用配慮
2.通勤への公共交通機関の利用を促すための計画書制度
3.事業者に対する削減計画書制度
などが提案された。条例の内容については、こうした環境審議会における議論を基に検討することとし、その際、(仮称)地球温暖化対策基本法案で国のほうで検討されている基本原則や国内排出量取引制度、機器・建築物の省エネ対策などの取組と整合するよう十分配慮して参りたい。

成 田 / **現在、持続可能な滋賀社会ビジョンにおいて、低炭素社会のイメージができていていると思うが、そのビジョンを実現するためには、さまざまな障壁を打破していかなければならないが、どのような障壁があると考えておられるか?**

知 事 / ビジョンを実現するための障壁、すなわち技術的あるいは社会システムとして克服すべき課題が、4点ある。①制度上の課題、②経済・財政面の課題、③合意形成上、社会意識としての課題、④機器の開発・技術水準や効率改善といった技術上の課題が考えられる。現在検討中の工程表では、障壁を克服するために必要となる数多くの対策、施策、取組を体系づけて整理したうえ、これらを社会に定着させる期間などを考慮し、時系列に組合せたものを作成する。工程表を平成22年度中にとりまとめていきたい。

バスの利用拡大に向けた取り組みについて

成 田 / **第三次滋賀県環境総合計画においても、重点プロジェクトに「持続可能な交通システム」プロジェクトがあり、自転車利用の促進とバス利用の促進が挙げられているが、現在のバスが置かれている状況をどのように認識し、モビリティマネジメントの実施により、マイカーからバスへの転換をどのように進められて行くのか、バスの利用拡大に向けてどのような取り組みを行うのか?**

知 事 / 県では、平成20年度からモデル的に、企業との協働により従業員の意識啓発を図りながらマイカー通勤を削減する試みや、アンケート調査等を実施しながら、行政やバス事業者が地域住民と一緒に、バスの活性化や効率的な運用を考える取り組みを進めている。もとより、公共交通の利用促進は、地球温暖化対策に加え、地域によっては過疎化や高齢化の問題とも密接に関わっている。工程表を検討する中で、地域の実情に応じた温室効果ガス排出量の少ない地域交通のあり方を十分検討して参りたいと考えている。

県産材の利用拡大に向けた取り組みについて

成 田 / **県産材の利用拡大が、森の価値を高めるためにも、今後の森林の整備に向けた取組においても、非常に重要であるが、県産材の利用拡大に向けて、どのように施策を展開されるのか?**

琵琶湖 / 県産材の安定供給に向けた生産流通体制の整備に取り組む。具体的には、路網整備や高性能林業機械を活用した、いわゆる低コスト施業により、木材の生産性の向上を図るとともに、木材を無駄なく効率的に流通させる拠点の整備にも取り組んでいく。あわせて、木造住宅などでの県産材の利用促進に向けて、消費者と製材事業者や工務店をつなぐ地産地消のネットワークの整備にも積極的に取り組んでいく。

滋賀県の間伐材すべて(16万m³)
を燃料にすると…。

石油:約3万リットル
CO₂:約6万CO₂トン

現在、間伐材は総面積の1割しか
搬出利用がされていません。

成田セイリュウ 活動アルバム



大津市消防団 新春出初式



自治体政策青年ネットワーク研修会 (愛知県犬山市)



総務・政策常任委員会 防災ヘリ 視察



びわ湖レイクサイドマラソンに出場